

No. 16-4

事務事業評価シート1-1

は、プルダウンメニューから選択

事務事業No. 16 - 4

事業分類		<input checked="" type="checkbox"/> ソフト <input type="checkbox"/> ハード <input type="checkbox"/> 必需		公的関与 6		作成日 27年 4月 30日	
事務事業名		外国人指導助手派遣事業				シート作成部署	
総合計画上の位置付け	基本施策	3 心豊かなまち		課名	学校教育課		係名
		3-1 生涯学びのあるまちをつくる			シート作成者		
	施策	3-1-1 幼児教育・学校教育の充実		予算費目	会計	一般	
					款	10	
主要施策	② 学校教育内容の充実		項		1		
			目		2		
個別計画名							
住民との関わり		特になし					
事業の対象・目的・内容	対象（誰を、何を）		目的（どういう状態にしたいのか）				
	幼稚園の5歳児、小学生、中学生及び幼稚園教員、小学校の外国語活動担当教員、中学校の英語担当教員を対象		ネイティブスピーカーによる指導の機会を設けることによって、英語の音声や基本的な表現に慣れ親しみながら、積極的にコミュニケーションを図ろうとする意欲や態度の育成を図り、英語教育及び国際教育の充実を図る。				
	事業内容（どのような方法で、何を行うのか）		幼稚園では5歳児を中心に学期に1回程度訪問し、英語に親しむ活動を行う。 中学校では、英語科の指導助手として、全ての学年を対象に平均1クラス週2時間の授業を行う。 小学校では外国語活動の指導助手として、小学校5、6年生を対象に平均1クラス週1時間の授業を行う。 また、随時小学校からの要請に応じて、学校裁量の時間等で訪問指導する。				
事業期間		昭和 <input type="checkbox"/> 平成 <input checked="" type="checkbox"/> 17年度 ~ 平成 年度（ 年間） <input checked="" type="checkbox"/> 期間設定なし					
根拠法令・要綱等		招致外国青年就学要綱					
		平成25年度（決算）		平成26年度（決算）		平成27年度（予算）	
全体事業費（千円）A+B		11,570		12,474		14,123	
財源内訳	国庫支出金	0		0		0	
	県支出金	0		0		0	
	地方債	0		0		0	
	その他特定財源	0		0		0	
	一般財源	11,372		11,748		13,397	
直接事業費（千円）A		11,372		11,748		13,397	
人件費（千円）B		198		726		726	
内訳	一般職員（人・千円）	0.03 人	198	0.11 人	726	0.11 人	726
	臨時職員（人・千円）	人	0	人	0	人	0
成果指標	成果指標名		単位	26年度		27年度	28年度
				目標	実績	（目標）	（目標）
	①	中学校英語時間数（週／クラス）	時間	2	2	2	
	②	小学校外国語活動（学期／クラス）	時間	1	1	1	
③	小学校外国語活動5、6年（週／クラス）	時間	1	1	1		
説明		中学校の英語科の授業で、指導助手として入り、生徒の英語のコミュニケーション能力の向上を図る。小学校の5、6年で実施する外国語活動の授業で、指導助手として入り、児童の英語でコミュニケーションをしようとする意欲を高める。ただ、単純に数値として目標を設定することは困難である。					

事業名	外国人指導助手派遣事業	シート作成課	学校教育課
-----	-------------	--------	-------

一次評価者	学校教育課長	二次評価者	教育委員会事務局長
-------	--------	-------	-----------

評価項目の説明	チェック項目		一次の評価又は説明	
	一次	二次		
必要性	1. 事業開始時の目的を概ね達成するなど実施意義が低下している。 2. 社会情勢の変化など時の経過とともに事業開始時の目的が変化してきている。 3. 利用者、対象者の減少など住民ニーズの低下傾向がみられる。 4. 住民ニーズを上回るサービス提供となっている。 5. 国や他市町と比較するとサービスの対象や水準を見直す余地がある。 6. 国や県のサービスと重複している。 7. 民間のサービスと競合している。 8. 厳しい財政状況の中、実施する緊急性が認められない。	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	外国人指導助手（ALT）による生の英語に触れることで、児童・生徒の意欲の向上、英語力の向上、異文化理解に寄与しています。
有効性	1. 施策の目的を実現するために、事業内容が必ずしも適切とはいえない。 2. 施策への貢献度が著しく高いとはいえない。 3. 施策の中で類似・重複した事務事業が存在する。 4. 事業の継続をしても成果の向上が期待できない。	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	ALTが授業に参加することにより、児童・生徒の確実な英語力向上が期待できます。児童・生徒の英語学習に対する興味や関心を深めるだけではなく、生の発音や英会話を体験することにより、実践的なコミュニケーション能力の育成にもつながっています。
達成度	1. 事業開始時の目標設定に比べて進捗状況が劣っていると思う。 2. 事業開始時の目標に比べて成果があまり上がっていないと思う。 3. 概ね目標を達成していると思う。 4. 十分に目標を達成していると思う。	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input checked="" type="checkbox"/>	小学校では今後3年生4年生にも拡大、教科にする動きがあり、小学校外国語活動の研修を進め、効果的なチームティーチングの研修を深めていく必要があります。
効率性	1. 効果に比べてコストが高い（他市町や類似業務を行う民間に比べて）。 2. 現在の事業実施主体の他に効率的に事業を実施できる主体がある。 3. 他の実施主体のノウハウを活用できる。 4. 他の実施主体を活用しても公平性・公正性等が担保され、行政責任が問われない。 5. 事業実施している人員、手段等の見直しによりコスト削減の余地がある。 6. 電子化等の事務改善によりコスト削減の余地がある。 7. 契約方法の変更などによりコスト削減の余地がある。	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input checked="" type="checkbox"/>	任用に関する業務や附帯する業務を行う民間委託の検討も必要です。

本事務事業の実施適切性の説明

外国語指導助手を活用することにより、異文化を体験、理解し、協調する態度を育成するとともに、積極的に英語を使ってコミュニケーションを図ろうとする意欲や実践力を育成することができます。そのことが、児童生徒の英語力向上につながると考えます。

評価	必要性	有効性	達成度	効率性	総合評価		
	一次評価	4	4	4	3	B D	A C
今後の方針	休・廃止		見直し		継続		拡大
今後の改革・改善目標	平成21年度から開始された小学校5、6年生の外国語活動をより充実する必要があります。中学校2校と小学校を専門に巡回するALTを配置し、今後も3名体制で継続すべきと考えます。						

評価	必要性	有効性	達成度	効率性	総合評価		
	二次評価	4	4	4	3	B D	A C
今後の方針	休・廃止		見直し		継続		拡大
コメント	小学校の外国語活動については、担任の負担を軽減しつつ充実させる必要がある。						

二次評価に対する課の考え方							
---------------	--	--	--	--	--	--	--

参画協働の今後の方針	いつから	平成	年度から	1	現在の手段を継続する		
------------	------	----	------	---	------------	--	--